

2025年5月3日
株式会社 GT アソシエーション
FIA-F4 事務局

FIA-F4 選手権 第1/2戦 予選上位コメント

■ チャンピオンクラス (第1戦 予選1位/第2戦 予選1位)

白崎 稜【#16 Kageyama YBS Verve MCS4】



「木曜日（ドライ走行だった練習走行の2回）は両方3番手で結果はまずまずでしたが、自分としてはマシンにドライビングを合わせられていないと感じていたため、どうやればうまくまとめられるかずっと考えていました。マシンが速いことは分かっていたので、エンジニアさんと相談してドライビングを修正した結果、予選では良い具合にアジャストすることができました。ポールポジションを獲得することができて良かったです。予選前までは今シーズンの目標はまず表彰台でしたが、ポールポジションからスタートする以上もちろん勝ちにいかねばならないと思っています」

■ チャンピオンクラス (第1戦 予選2位/第2戦 予選2位)

佐藤 樹【#17 Kageyama チームスタイル MCS4】



「木曜日（ドライ走行の練習走行日）に単独でトップタイムを出していたので、スリップに頼らず自分を信じてアタックに挑みました。その結果2位で終えることになり、正直悔しいです。木曜日はロングのペースも良かったので、午後の決勝（第1戦）はとりあえずフロントロウ（スターティンググリッドの1列目）という良いポジションからスタートできるということで、優勝を目指してやれることはすべてやり尽くしたいと思います。スタートがまずは勝負どころですが、むやみに狙いに行くとも良いことがないので、そこは無難に行くつもりです」

■ チャンピオンクラス (第1戦 予選3位/第2戦 予選4位)

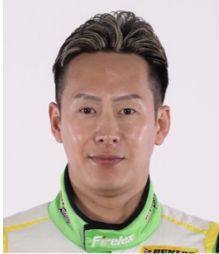
梅垣 清【#28 TGR-DC RS F4】



「木曜日（ドライ走行の練習走行日）は1セッション目が4位で2セッション目は2位と、コンディションの変化にうまく合わせることができました。でもトップタイムを獲得することはできなくて、若干悩んでいました。今日の予選は、昨日（練習走行日）の雨で路面コンディションが悪いことを想定してセッティングもドライビングもアジャストしたつもりでしたが、実際は想定よりも上で、結果的にアジャストできていなかった感じです。ドライビングの方もベストを尽くしたつもりですが、トップ2台が速いので、データをこれから見て修正できる部分は決勝に向けて修正したいです。午後（第1戦決勝）はスタートを決めて、優勝できるよう頑張ります」

■ インディペンデントクラス (第1戦 予選1位/第2戦 予選3位)

KENTARO 【#55 baum beauty clinic】



「幸運（上位者の失格）もあってポールポジションを獲得することができましたが、自分の能力を限界まで引き出すことができなかった予選でした。振り返ると足りなかったと感じる部分がたくさんあって、もっと攻めれば良かったと思っています。（第1、2戦の）決勝は、神に祈るのみ。去年、富士では2回勝っているし、今回も優勝目指して頑張ります。シーズンを通しては、去年は特に雨のレースで結果を残せなかったのが、今年は雨であってもそこそこの成績を残して、安定して上位で戦いたいです」

■ インディペンデントクラス (第1戦 予選2位/第2戦 予選2位)

中島 功 【#10 Rn.SHINSEI.MCS4】



「富士はめちゃくちゃ苦手なコースで練習でも全然良くなかったのですが、昨日（練習走行日）から調子が上がっている感触がありました。もうちょっとでポールポジションだったので、惜しかったです。ドライビングの方を修正しようとアドバイスを受けたり自分でも研究したりしたところ、急に良くなりました。クルマの調子も、ものすごく良いと思います。午後の決勝（第1戦）も安定したペースで走れると思うので、優勝できるよう頑張ります」

■ インディペンデントクラス (第1戦 予選3位/第2戦 予選1位)

DRAGON 【#30 B-MAX TEAM DRAGON】



「コースインして2周目にスロットルが戻らないトラブルが出て、100Rでコースアウトしかけました。その後もトラブルは治らずピットインしようか迷ったくらいで、最後までベストなアタックはできませんでした。それがなければ、ハンドリングはすごく良かったしポールポジションは全然いけたと思います。単純なメカニカルトラブルということで決勝は問題なさそうだし、セカンドロウ（スターティンググリッドの2列目）であれば、1周目の混乱に巻き込まれさえしなければ優勝は十分射程圏内。今回の富士に関しては3連勝するつもりなので、気合を入れてレースに挑みます。2連覇がかかっているシーズンですが、インディペンデントクラスのドライバーは1戦1戦が大切。去年のことは忘れて、常に真っ向勝負でいきます」